

平成 24 年度第 2 回 淀川河川公園  
下流域地域協議会 平成 25 年 1 月 31 日  
資料 1

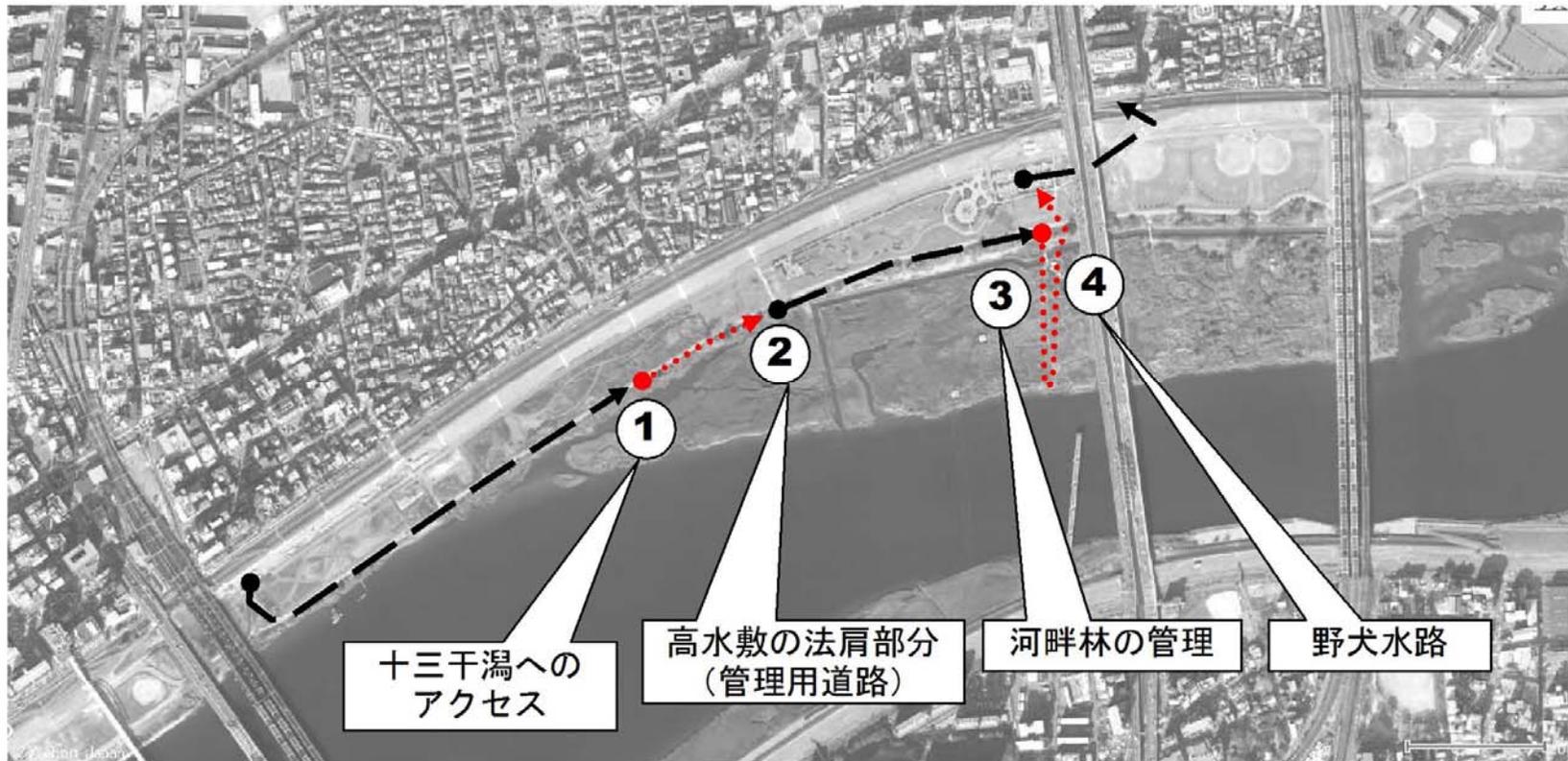
# 淀川河川公園 下流域 現地見学会 報告

# 現地見学会 概要

- 実施日時 : 平成24年11月2日(金)
- 参加者人数 : 計14名  
(内、委員9名、過年度地区会議参加者5名)

# 西中島・十三野草地区

# 西中島・十三野草地区 見学ルート



● — — — — —> マイクロバス  
● .....> 徒歩

# ① 十三干潟へのアクセス



# ① 十三干潟へのアクセス

- 十三干潟の観察会等の開催時には、草花苑の上流端付近(写真左)から干潟へアクセスが可能。
- その他の場所(写真右)は、干潟への立入が過剰とならないよう、現状を維持。

## ② 高水敷の法肩部分(管理用道路)



## ② 高水敷の法肩部分（管理用道路）

- 管理用道路となっている十三野草地区の法肩部分は、固い地盤をほぐし、植生の再生の誘導により自然環境の連続性を確保。

### ③ 河畔林の管理



### ③ 河畔林の管理

- 西中島地区のバーベキューエリアの河川側の河畔林は、適度な間引きにより生物生息環境に配慮しつつ、自然環境の連続性を確保。

## ④ 野犬水路

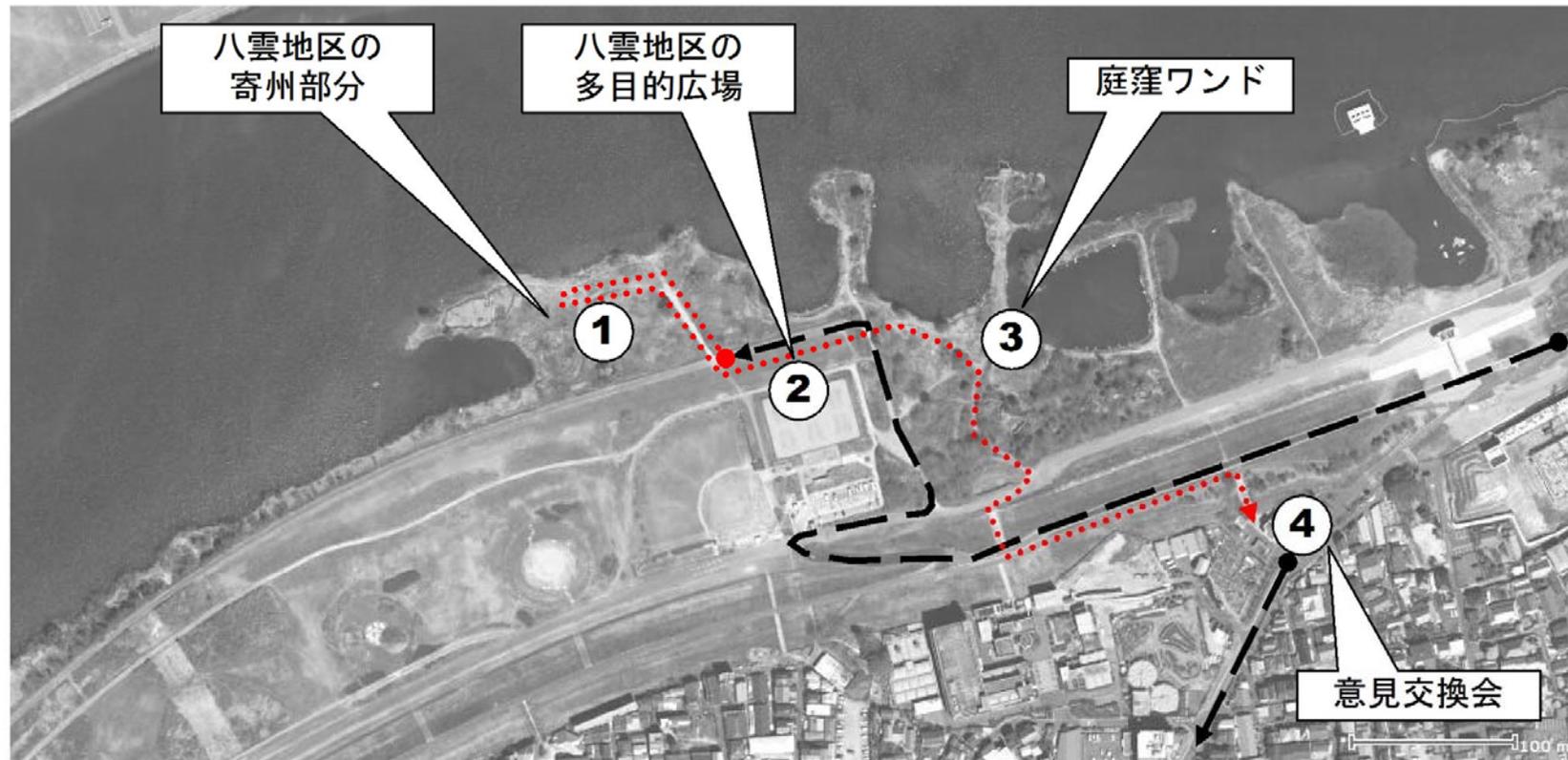


## ④ 野犬水路

- 西中島地区の野犬水路は、水路の上下流側の浅い部分を掘削することにより、再生干潟から十三干潟までの通水性を確保。

# 庭窪・八雲地区

# 庭窪・八雲地区 見学ルート



● — — — — — → マイクロバス  
● ..... → 徒歩

# ① 八雲地区の寄州部分



# ① 八雲地区の寄州部分

- 八雲地区の寄州部分の水際の連続性の確保による水辺植生の誘導方法は、切り下げではなく、ヨシの根茎のある土壌の客土等の植生管理により実現。

## ② 八雲地区の多目的広場



## ② 八雲地区の多目的広場

- 八雲地区の多目的広場は、オギ草原やチガヤ群落が交互に配置されるよう意識的に二次草原化することで、自然環境の連続性を確保。
- 草丈の高い草原は子供や一般利用者が近づきにくくなることにも留意。

### ③ 庭窪ワンド



## ③ 庭窪ワンド

- 庭窪ワンドには通行しやすい踏み分け道が存在する。ワンドへのアクセスは踏み分け道の維持管理に留める。

## ④ 意見交換会



- 庭窪レストセンター会議室にて意見交換を行い、整備・維持管理の具体内容を議論。